

令和元年度 第5回 松山市子ども・子育て会議
教育・保育部会 会議録

1. 日時

令和2年2月4日(火) 10:45～11:15

2. 場所

松山市青少年センター1階 大会議室

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員(9人)

上岡 周介、鵜久森 克、香川 実恵子、加納 飛鳥、住田 信幸、濱田 由紀、三浦 和尚、村上 出、森 公夫(五十音順、敬称略)

(2) 事務局

保育・幼稚園課

4. 傍聴の可否

可(傍聴者0人)

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 報告事項

①松山市内の企業主導型保育事業の状況について

②令和元年度実施の新制度への移行に関する意向調査結果について

(3) 協議事項

①令和2年度の利用定員の設定について

(4) その他

①連絡事項等

(5) 閉会

6. 配布資料

・部会次第

・松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会 委員名簿

・資料1: 松山市内の企業主導型保育事業の状況について

・資料2: 令和元年度実施の新制度への移行に関する意向調査結果について

・資料3: 令和2年度の利用定員の設定について

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、令和元年度 第5回松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会を開会させていただきます。

本日の部会につきましては、委員総数10名のうち、9名の皆様にご出席をいただいております、過半数に達しておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第8条第4項の規定により準用する第6条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第8条第4項の規定により準用する第6条第1項の規定により、これより先は、三浦部会長に進行をお願いいたします。三浦部会長、よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

・三浦部会長

みなさん、こんにちは。

全体会に引き続いてよろしくお願いいたします。今回は報告事項が2件、協議事項が1件ですが、忌憚のないご意見をいただけたらと思います。

それでは、事務局から報告事項の説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料1に基づき「松山市内の企業主導型保育事業の状況について」を説明～

・三浦部会長

ありがとうございました。

企業主導型保育事業の現在の状況について、新たな企業主導型保育事業の募集は現在停止されているということ。令和元年9月から事業を開始したところと、令和2年度から事業の開始を予定している施設が、それぞれ1施設あるとのことでした。何かご質問等ございましたらお願いします。

(各委員からの「意見なし」)

・三浦部会長

それでは、続いて資料2について事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料2に基づき「令和元年度実施の新制度への移行に関する意向調査結果について」を説明～

・三浦部会長

ありがとうございました。

昨年10月の各施設の意向ですので、変動する可能性もあるということです。また、意向調査の結果、今後も認定こども園への移行が進む流れが見られるとのことでした。

何かご質問等ございましたらお願いします。

(各委員からの「意見なし」)

3. 協議事項

・三浦部会長

では協議事項に移ります。

「令和 2 年度の利用定員の設定について」事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料 3「令和 2 年度の利用定員の設定について」を説明～

・三浦部会長

ありがとうございました。

各施設からの申請に基づいたもので、調整されたものではないということで、この部会で承認後、県へ届出をするということです。何かご意見・ご質問等ございますか。

・森委員

保育士や幼稚園教諭の確保が難しく、定員を減らしている施設がありますが、現場では、人が不足しています。人が不足していることに加え、働き方改革も叫ばれ、この両方で、非常に厳しい状況です。働き方改革により、残業も難しくなると、さらに保育士が必要になってきます。これまで何とかやっていた施設も、保育士が必要となってきました。

・上岡委員

現在、保育業界は初めて競争に晒されていると言えます。

企業主導型保育事業の場合、36 施設あり、受け入れ可能児童数が約 1,000 人で、その多くが 0~2 歳児であるため、保育士が 300 人程度、そちらに流れていると言えます。業界全体では保育士の数が多く必要ですが、企業主導型保育事業や小規模保育事業など、多くの保育施設ができた現在、競争で苦しい園が定員を減らしている状況と思います。

その中で、私が最も気になっているのは、保育の質の部分で、企業主導型保育事業や小規模保育事業の保育の質が確保できているのか。保育士の質の向上の機会となる、研修機会が少ないことを心配しています。行政もそのような機会を設けられるように努力していただきたいと思います。

・森委員

企業主導型保育事業も、県や市、各種団体から研修の案内がありますので、研修機会はたくさんあります。

・上岡委員

研修の受講状況をみると、参加していない園も多いようです。研修に保育士が参加すると、残りの人数で園を運営することになるので、参加が難しいところもあると思います。

・森委員

私の運営している園では研修はなるべく参加するようにしています。すべて参加するというのは難しいですが、参加しようと思えばできる状況にあるとは思っています。

・上岡委員

研修の参加を経営者の判断だけに任せたいとは思いません。無償化が始まり、税金を使うことになったため、ある程度は、参加することに強制力を持たせる必要があると思います。

・三浦部会長

保育・教育の質の保障というのが最後の砦になると思います。そのため、保育士、幼稚園教諭の研修機会を促すなど、行政も努力をしていただきたいと思います。

・上岡委員

あと 5 年ほど経過すると、この会議で話した結果が分かってくると思います。保護者も施設の違いが自然と分かってくると思います。

・加納委員

毎年、この時期に定員を決定していると思うのですが、保育士不足が原因で定員を減らすことになった施設は、過去にもあったのでしょうか。

・事務局

保育士不足が原因で、定員を減らした施設は、平成 28 年度からありました。ただし、定員を減少した施設数については、今年度はこれまでより増えています。

・加納委員

上岡委員のお話にもあったように、そのような状況が表れていると思いました。

・上岡委員

福祉事業だと「いずれ必要がなくなれば辞めてもよい」という認識があるためか、問題が少しずつしか露呈しません。現場は今混乱状態にあると思います。

・三浦部会長

ありがとうございました。

現状理解も深まったと思います。この議題について、他にご質問等ございますか。

(各委員からの「意見なし」)

・三浦部会長

特に意見などなければ、今回説明のあった利用定員を設定するという事でよろしいでしょうか。

(各委員から「異議なし」)

・三浦部会長

では、この定員で承認いたしましたので、事務局から県への届出をお願いします。

・三浦部会長

全体を通してご意見などありませんか。

(各委員からの「意見なし」)

・三浦部会長

では、事務局から連絡事項をお願いします。

4. その他（連絡事項）

・事務局

～事務局から、連絡事項を説明～

・三浦部会長

ありがとうございました。

今回の部会で今年度の会議は終了となります。みなさん、ありがとうございました。来年度も任期が続きますので、引き続きよろしくお願いします。

5. 閉会

・事務局

三浦部会長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「令和元年度 第5回松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会」を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、全体会に引き続き、長時間にわたる審議にも関わらず、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

(了)